



☆アイデア集(第31集)の1次原稿の募集  
☆第2回読書会報告  
☆授業のひとコマ

# アイデア集(第31集)の1次原稿の募集

岡崎市算数数学部から発刊されていますアイデア集は、今回で31集をむかえます。今年度は、発刊の年でもあり、多数の原稿を募集しています。教科書の内容をもとにしたアイデアだけでなく、単元を効果的に学ぶための新しい視点にたった教材や教具なども募集しております。

平成28年9月2日(金)の教育研究大会 算数・数学の分科会の会場が1次原稿の提出となっております。その機会に提出できなかった場合は、小学校は上地小学校の林秀、中学校は、六ツ美中学校の小山岳彦まで送って下さい。多数の原稿をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

## 第2回読書会

第2回の読書会が6月24日(金)に総合学習センターで開催されました。今回は、①研究的実践より学ぶ、②グループに分かれての自由討論の2つの内容で行われました。

① 研究的実践より学ぶでは、ユニバーサルデザインで行う6年「図形の拡大と縮小」の実践として六ツ美北中学校の国分貴寛先生が発表されました。

### 【柴田先生からのご助言】

- 「教科書教材に仕掛けを作る」のはよいアイデア。  
問題の必要性を感じさせられるようにしたい。

例

$\begin{array}{r} 37 \\ -12 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ -1\Box \\ \hline \end{array}$
--	---

同じように解けるのは  
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7  
8は?あれ?できない!!  
↓  
同じように解くにはどうする?



柴田先生のご助言

※例のように問題の必要性をもたせたい。

- 1時間の授業で山場から逆算して授業展開を考えるのはよい。
- ユニバーサルデザインを行ったことで、他の方法を行うよりもよく理解できた事実がほしい。
- 視点化→子どもたちの考え方をたくさん出した方がよい。教師の考え方一つにしぼりたくない。
- 算数・数学の中では視覚化せずに論理的に頭の中で考えることが大切なきももある。

② グループに分かれて自由討論では、小学校と中学校に分かれて進められました。小学校は、竜美丘小の畑先生の略案(小5「式と計算」)を中学校では、岩津中の山本先生の略案(中1「座標の学習」)を元に授業展開の改善点を探ることを視点に討議が行われました。

### 【柴田先生からのご助言】

- ・ 子どもたちのこれまでの経験と今(用意した教材や課題)をどのようにつなげるかが大切である。
- ・ おもしろい教材を用意したときは、「今まで(既習事項)とのつながり」「その後の発展のさせ方」をよく考えることが大切である。



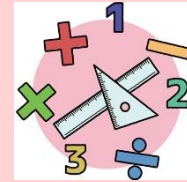
(小学校のグループ討論)

※詳しくは、後日、メールで送付されます読書会報告をご覧ください。

## 【読書会に参加して】感想

ユニバーサルデザインの発想である「どの子にとっても分かりやすい算数を目指す」意識は私たち教員にとって常に心掛けたいことだと実感しました。また、グループ討論で自分の略案を他の先生に指摘していただいた経験は貴重な機会になりました。本時の課題設定の在り方を見直し、2学期からの授業を行っていきたいです。  
(文責：畑 小普)

# 授業のひとコマ



## 「1000までの数（小学校2年生）」実践

教科書 上 P74

3位数の大小を比較し不等号の意味と式に表す学習の中で、「不等号」という学習用語を教師が子供に「教える」場面である。子供が受け身になる授業展開にしたくなかったため、岡崎市算数・数学部のアイデア集に掲載されていた子供の主体的な活動を取り入れた「ガリバートンネルで数の大小を見つけよう」を実践することにした。実践の流れは以下のとおりである。

### ① ガリバートンネルが描かれた絵を黒板に提示する。

ガリバートンネルが描かれた絵を何も言わずに提示した。

### ② 「これは何でしょう？」と発問する

「トンネル」「ドラえものの道具だ」といった子供たちの自由な発言が聞こえてきた。その後「ドラえものの道具であること」を知らせた。

### ③ ドラえもの大きさの変化に気が付いてほしいために、子供たちに「このガリバートンネルの絵を見て、何か気が付いたことはありませんか」と発問をする

子供たちからは「だんだんドラえもんが大きくなっていく」や「小さい入口からドラえもんが入るとドラえもんが小さくなっていく」「〇〇さんと違って、大きい入り口からドラえもんが入ると出てくるときは、ドラえもんが小さくなっていく」と、ドラえもの大きさの変化に、子供たちは気が付いた。

### ④ 「ガリバートンネル」に似ている「不等号」という学習用語と意味を教える。

### ⑤ 「不等号」の向きが違うときがあるので、左右反対になったガリバートンネルも提示をする。

### 実践を終えて

授業後に黒板に貼られた「ガリバートンネル」と「不等号」を指でなぞり、「ガリバートンネルと不等号の形はとても似ているね」「だんだんとトンネルの口が開いていくとドラえもんは大きくなっていくんだね」と子供同士で話をしていた。

ドラえものの道具である「ガリバートンネル」を用いることで、子供たちの興味をひきつけ、楽しく学習できただけでなく、不等号の意味を子供たちに視覚的に捉えさせることもできた。今後も岡崎市算数・数学部のアイデア集を活用し、学習を進めていきたい。  
(文責 常磐南小学校 三ツ口 葵)

